

報道関係者各位

令和3年（2021年）3月12日

近畿大学附属和歌山高等学校

女子テニス部が全国選抜高校テニス大会に出場 コロナ禍で大会中止となった先輩たちの思いを胸にベスト16をめざす

近畿大学附属和歌山高等学校（和歌山県和歌山市）女子テニス部は、令和3年（2021年）3月20日（土）から博多の森テニス競技場（福岡市）で開催される「第43回全国選抜高校テニス大会」の女子団体戦および女子個人戦（2年生 橋葵）に出場します。

全国大会遠征を前に、令和3年（2021年）3月17日（水）、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から壮行会に替えて、校長の川合廣征が女子テニス部の生徒に激励の言葉を贈ります。



和歌山県大会優勝時の様子

1. 本件のポイント

- 女子テニス部が昨年に続き2年連続で全国選抜高校テニス大会の出場権を獲得
- 壮行会に替えて、校長がコロナ禍の中での生徒の健闘を称え、激励の言葉を贈る
- 生徒は、昨年コロナ禍で大会が中止となった先輩の思いを胸にベスト16入りをめざす

取材のご案内

2. 本件の内容

本校女子テニス部は、令和2年（2020年）11月14日（土）・15日（日）に、つつじが丘テニスコート（和歌山市）で開催された「第43回全国選抜高校テニス大会近畿地区大会」で7位に入賞し、2年連続で全国大会出場権を獲得しました。同部は、昨年も出場を決めていましたが、新型コロナウイルスの影響で大会が中止となり、出場を果たすことができずに悔しい思いをしました。

昨年の無念を晴らすため、コロナ禍で練習時間が短くなるなどの制約を受けながらもチーム一丸となって練習に励み、近畿地区7位入賞として、全国大会出場を決めました。昨年出場できなかった先輩たちの思いを胸に、全国大会ベスト16をめざします。

3. 校長による激励

日時：令和3年（2021年）3月17日（水）16:30～17:00

場所：近畿大学附属和歌山高等学校・中学校 応接室

（和歌山市善明寺516、JR阪和線「和歌山駅」から和歌山バスで約15分、「近畿大学附属和歌山校前」下車すぐ）

次第：出場選手紹介

激励の言葉 校長 川合廣征（かわい・ひろゆき）

選手代表挨拶 女子テニス部主将 島澤沙綾（しまざわ・さや）

4. 第43回全国選抜高校テニス大会

日時：令和3年（2021年）3月20日（土）16:00 開会式

21日（日）～25日（木）個人戦／23日（火）～26日（金）団体戦

場所：博多の森テニス競技場（福岡県福岡市）、春日公園テニスコート（福岡県春日市）

※対戦校は開会式後の抽選会で決定

5. 監督、出場者のコメント

監督：田中希武（たなか のぞむ）

夢の舞台である全国大会に出場できるのは、今まで支えて頂いた皆様のお陰です。選手共々全力を尽くし、全国大会ベスト16をめざして頑張ります。応援よろしく願いいたします。

主将：島澤沙綾（しまざわ さや）（2年生）

家族や先生をはじめ、たくさんの方々に支えられてきました。プレーでは全力を尽くし、感謝の気持ちを行動で表したいです。大会では、近大らしい粘りのプレーをして、諦めることなく勝負します。応援よろしく願いします。

個人戦出場選手：橘葵（たちばな あおい）（2年生）

取材のご案内

今大会は、勝ち進めば全米オープンジュニアに繋がる大会です。自分の可能性を信じて、上位進出めざして頑張ってください。

6. 女子テニス部出場メンバー

団体戦：橘 葵（たちばな あおい）（2年生）
辻野美月（つじの みつき）（2年生）
坪井颯来（つばい そら）（2年生）
島澤沙綾（しまざわ さや）（2年生）
松岡花菜（まつおか はな）（2年生）
田中沙季（たなか さき）（1年生）
山口紗英（やまぐち さえ）（1年生）
繁本紅音（しげもと あかね）（2年生）
宮本彩花（みやもと あやか）（1年生）
個人戦：橘 葵（たちばな あおい）（2年生）

7. 本資料の配布先

和歌山県政記者クラブ、和歌山地方記者室、和歌山県政放送記者クラブ

【本件に関するお問合せ先】

近畿大学附属和歌山高等学校・中学校事務室 担当：渡瀬、松岡

TEL：073-452-1161 FAX：073-451-0394

E-mail：wakayamajimu2@itp.kindai.ac.jp